

京都市立日吉ヶ丘高等学校 沿革史

明治 11 年 8 月 15 日 田能村小虎南宗画家等が植村正直京都府知事に画学校設立を建議。

明治 13 年 7 月 1 日 京都御苑内に京都府画学校開校(日本初の画学校)。

明治 22 年 12 月 1 日 京都市に移管し、京都市画学校と改称。

明治 24 年 4 月 1 日 京都市美術学校と改称。

明治 27 年 8 月 1 日 京都市美術工芸学校と改称。

大正 15 年 6 月 10 日 下京区今熊野日吉町の新築校舎に移転。

昭和 6 年 7 月 1 日 創立50年記念式典挙行。

昭和 23 年 4 月 1 日 京都市立美術高等学校と改称。

昭和 24 年 4 月 1 日 京都市立日吉ヶ丘高等学校と改称。学制改革により、地域制・総合制(普通科・商業科・美術科)男女共学の高等学校として発足。校名は東山区今熊野日吉町50番地の地名に基づいて命名。校章制定。

生徒数671名 1年472名 2年176名 3年23名

昭和 24 年 11 月 1 日 開校式挙式。爾後11月1日を創立記念日とする。

昭和 25 年 1 月 8 日 校歌制定 作詞 森里忠男 作曲 田辺一郎。

昭和 25 年 5 月 13 日 新築校舎の建設予定地を泉涌寺山内町。泉山陵付属地に選定。校地31,957.2㎡。

昭和 25 年 12 月 7 日 建設予定地、皇室経済会議に上程したのち衆議院で可決。翌8日参議院で可決。

昭和 25 年 12 月 13 日 建築設計を明治大学教授堀口捨巳工学博士に依頼。

昭和 27 年 4 月 1 日 泉涌寺山内町の新築校舎に移転。

昭和 28 年 7 月 30 日 本館(鉄筋4階建て)校舎竣工式挙式。

昭和 29 年 4 月 1 日 商業科の募集停止。

昭和 33 年 3 月 1 日 校旗制定(ダークグリーン地に金糸で校章を刺繍)。





昭和 34 年 12 月 4 日 体育館竣工。床面積651,04㎡。

昭和 41 年 3 月 19 日 グラウンド拡張工事完成。

昭和 49 年 8 月 31 日 2号館改築・竣工。

昭和 50 年 6 月 1 日 プール完成。

昭和 53 年 6 月 6 日 茶室「雲岫庵」復原。

昭和 55 年 4 月 1 日 美術工芸科独立。京都市立銅駝美術工芸高等学校となる。

昭和 56 年 10 月 31 日 2階建格技場完成。4号館を特別室棟に改修。LL教室新設。

昭和 60 年 4 月 1 日 京都市内を4通学圏とし、類・類型制の教育制度を実施。

本校は、桃山・鳥羽・洛水・塔南とともに南通学圏となる。

昭和 60 年 5 月 31 日 コンピュータ教室新設。

昭和 62 年 5 月 31 日 トレーニングルーム完成。冷房設置8室。

昭和 63 年 10 月 1 日 進路指導部にコンピュータ・システム導入 (FINE・HEART システム)。

平成 元 年 4 月 1 日 体育館外壁塗装完成。平成2年4月1日館内配線改修。

平成 元 年 5 月 31 日 図書館冷暖房新設。夏休み学習室として活用。

平成 2 年 3 月 1 日 儀式用演壇、ステージの整備。視聴覚VTR関係機器の整備。

平成 2 年 4 月 25 日 自転車置き場拡張工事完成。

平成 4 年 8 月 3号館普通教室改修整備工事完成。

平成 5 年 6 月 10 日 普通教室、職員室クーラー施設7基整備完了。

平成 6 年 5 月 24 日 英語科設置許可。(40名)

平成 7 年 4 月 10 日 英語科第1期生入学。

平成 8 年 3 月 31 日 1号館および第2体育館改修。普通教室にモニターTV設置。

平成 10 年 3 月 31 日 新プール完成。





平成10年 7月 1日 2号館全教室にクーラー設置。

平成11年10月31日 創立50年記念式典挙行。

平成13年 3月31日 コンピュータ教室移転・改装工事完成。

平成15年 3月31日 メディアルーム改修工事完成。

平成15年 5月 普通教室、クーラー設置。

平成17年 3月31日 校内LAN情報コンセント設置工事完成。

平成20年 3月31日 LL教室機器更新。

平成21年 4月 1日 国際コミュニケーション科第1期生入学(英語科募集停止)。

平成26年 4月 1日 進学型単位制普通科第1期生入学(国際コミュニケーション科募集停止)。

平成28年 3月15日 リニューアル工事第1期完了。

平成28年 3月29日 英語村(HELLO Village)開村。

リニューアル完成イメージ（平成28年度内完成予定）

